

古文ドリル：「けれ」の識別 100問

対象：高校生・大学受験生（共通テスト～難関私大・国公立二次まで） 著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太

はじめに：「けれ」の正体（3種類＋例外）

古文の「けれ」は、見た目が同じでも正体が異なり、識別でつまづきやすい語です。基本は **3種類**、これに **まれな例外** が1つ加わります。

種類	直前の形	意味	例
① 過去の助動詞「けり」の已然形	連用形（イ段など）+けれ	過去・詠嘆	鳴き けれ ど
② 形容詞の已然形	形容詞の語幹+けれ	（意味を持たない）	をかし けれ
③ 助動詞の一部	べ・まじ・まほし・たし+けれ	（単独では意味なし）	ある べけれ
④ 【例外】四段已然形+完了「り」	カ行四段の已然形（エ段）+れ	完了・存続	咲 けれ ど

識別の鉄則（直前の一字を見る）

- 直前がイ段の連用形 → 過去の助動詞「けり」の已然形（鳴き・聞こえ・多かり…）
- 直前が形容詞の語幹（～し・～く の仲間） → 形容詞の已然形（をかし・高・うれし…）
- 直前が「べ・まじ・まほし・たし」 → 助動詞の一部（べけれ・まじけれ…）
- 直前がカ行四段のエ段（已然形） → 例外＝已然形+完了「り」（咲け・聞け…）

「けり」は連用形に、例外の「り」は已然形（エ段）につく——直前がイ段かエ段かが最大の決め手です。

🎯 解き方のコツ（試験本番で3秒）

コツ① 「けれ」の直前の一字を見る

- イ段（き・し・ひ・り…の連用形）+けれ → 過去「けり」已然形
- エ段（け・げ…のカ四已然形）+れ → 例外（已然+完了り）
- 「咲き**けれ**」＝連用形+けり、「咲**けれ**」＝已然形+り。一字違いに注意。

コツ② 形容詞の形なら「けり」ではない

- 「をかし／高し／うれし」など形容詞の已然形は **～けれ** (をかしけれ・高けれ)。
- **過去・詠嘆の意味は持たない**。係り結び「こそ…けれ」の結びや、「～けれど」の形で出る。
- 「**多かりけれ** (過去)」と「**多けれ** (形容詞)」の違いに注意。

コツ③ 上が「べ・まじ・まほし・たし」なら丸ごと助動詞

- 「あるべけれ」「言ふまじけれ」「見まほしけれ」「行きたしけれ」。
- 「けれ」だけを過去の助動詞として切り出してはいけない。

よくある引っかけ

- 「聞き**けれど**」(A・連用+けり)と「聞**けれ**ど」(D・カ四已然+り)。直前がイ段かエ段か。
- 「多かり**けれ**」は形容詞+過去「けり」(A)。形容詞已然形「多けれ」(B)と混同しない。
- 係り結び「こそ…をかし**けれ**」は形容詞已然形(B)。「～だった」と訳す必要はない。

採点表

各セッションごとに自己採点し、最後に合計を記録してください。

- 基礎 (Q1～Q20) : /20
- 標準 (Q21～Q50) : /30
- 応用 (Q51～Q80) : /30
- 入試レベル (Q81～Q100) : /20
- 合計 : /100

【第1部】基礎編 (Q1～Q20)

連用形+「けり」(過去)、形容詞の已然形、助動詞の一部を、純粋な形で識別する基本問題。

Q1. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

鳥こそ鳴き**けれ**。

Q2. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

月こそをかしけれ。

Q3. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

そのこと、あるべけれど。

Q4. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

人こそ多かりけれ。

Q5. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

山は高けれど、道あり。

Q6. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

文を書きければ、返りごとあり。

Q7. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

見まほしけれど、え見ず。

Q8. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

花はうれしけれど。

Q9. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

鶯こそ聞こえけれ。

Q10. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

言ふまじけれど。

Q11. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

人こそ思ひけれ。

Q12. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

道は近けれど、暗し。

Q13. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

行くべければ、出で立つ。

Q14. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

雨こそ降りけれ。

Q15. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

心こそ悲しけれ。

Q16. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

帰りたいし**けれ**ど、道遠し。

Q17. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

鐘の音聞き**けれ**ど。

Q18. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

水こそ無**けれ**。

Q19. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

都へ上り**けれ**ば。

Q20. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

罪あるまじ**けれ**ど。

【第2部】標準編 (Q21~Q50)

係り結び「こそ…けれ」、「～にけれ」、形容詞+過去「けり」など、頻出パターンを広く確認する。

Q21. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

花散りに**けれ**ば、春も暮れぬ。

Q22. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

風こそ涼しけれ。

Q23. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

今こそ言ふべけれ。

Q24. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

いとあはれにこそ思はれけれ。

Q25. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

夜こそ恋しけれ。

Q26. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

麗しかりければ、人皆めでき。

Q27. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

行かまほしけれど、暇なし。

Q28. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

鳥の音こそ寂しけれ。

Q29. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

文を奉り**けれ**ど、返りごとなし。

Q30. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

罪こそ深かるべ**けれ**。

Q31. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

山里こそ住み憂**けれ**。

Q32. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

雪降り積もり**ければ**。

Q33. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

言ふも愚かなるべ**けれど**。

Q34. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

花こそ匂ひ**けれ**。

Q35. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

道のほど遠**ければ**、日暮れぬ。

Q36. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

え避らまじければ。

Q37. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

いみじう泣きけれど。

Q38. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

世こそ定めなけれ。

Q39. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

帰り給ひければ、人々喜ぶ。

Q40. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

命惜しかまほしけれど。

Q41. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

庭こそ広けれ。

Q42. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

雁鳴き渡りければ。

Q43. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

立ち去るべ**けれ**ど、名残惜し。

Q44. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

雲こそ怪し**けれ**。

Q45. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

御文賜はり**けれ**ば。

Q46. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

知らせまほ**しけれ**ど、便りなし。

Q47. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

水の音こそ清**けれ**。

Q48. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

もの思ひに沈**みけれ**ど。

Q49. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

いと心苦しかるべ**けれ**ど。

Q50. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

花こそ咲き**けれ**。

【第3部】 応用編 (Q51～Q80)

ここから **例外** (カ行四段の已然形+完了「り」) が登場。直前がイ段 (連用形) かエ段 (已然形) を厳密に見分ける。

Q51. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

花咲**けれ**ど、なほ寒し。

Q52. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

鐘の音聞**けれ**ど、人来ず。

Q53. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

鶯鳴き初め**けれ**ば、春を知る。

Q54. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

草木鳴**けれ**ど、人語らず。

Q55. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

月こそ明か**けれ**。

Q56. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

都に着**けれ**ば、人々出で迎ふ。

Q57. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

よろづのことこそあはれに思ひ知られ**けれ**。

Q58. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

花の香こそなつかし**けれ**。

Q59. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

道を急**けれ**ど、日は暮れぬ。

Q60. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

御心ざしの深かり**けれ**ば。

Q61. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

この世にあるまじ**けれ**ど。

Q62. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

庭の梅咲**けれ**ば、香に立つ。

Q63. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

雲間の月こそうれし**けれ**。

Q64. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

文書き付け**けれ**ど、出ださず。

Q65. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

風吹**けれ**ど、花散らず。

Q66. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

その有様こそゆゆし**けれ**。

Q67. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

使ひ参り**けれ**ば、御覧ず。

Q68. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

門開**けれ**ば、人入り来。

Q69. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

かくこそあるべ**けれ**。

Q70. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

心ばへこそやさし**けれ**。

Q71. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

雪降り**けれ**ば、道見えず。

Q72. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

草深**けれ**ど、道はあり。

Q73. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

鳥羽鳴**けれ**ど、声幽かなり。

Q74. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

あはれと聞こえ**けれ**ど。

Q75. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

夜のけしきこそもの恐ろし**けれ**。

Q76. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

潮引**けれ**ば、洲あらはる。

Q77. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

御供に候ひ**けれ**ば。

Q78. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

げにこそ見るべ**けれ**。

Q79. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

山の井浅**けれ**ど、影は映る。

Q80. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

月影差し入り**けれ**ば。

【第4部】 入試レベル (Q81~Q100)

文脈の長い例文・紛らわしい対比で、3種類+例外を総合的に判断する。

Q81. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

都を出でて、はや三年になり**ければ**、面変はりせり。

Q82. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

軒端の梅咲**けれ**ど、主はかへり来ず。

Q83. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

人の心のつらきこと、世に類こそな**けれ**。

Q84. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

いとほしと思しめされ**ければ**、召して問はせ給ふ。

Q85. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

この物語こそ、いみじう面白**けれ**。

Q86. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

風吹**ければ**、波おのづから立つ。

Q87. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

かかる目を見むとは、夢にも思はまほし**けれ**や。

Q88. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

別れの悲しさ、言ふ方なくこそ覚え**けれ**。

Q89. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

親の諫め、いと畏かるべ**けれど**、従はず。

Q90. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

言の葉の道こそ、なほ捨てがた**けれ**。

Q91. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

御嶽に詣で着**けれ**ば、まづ拝み奉る。

Q92. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

いみじう悲しと泣き**けれ**ど、かひもなし。

Q93. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

心のうちこそ恥づかし**けれ**。

Q94. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

山風に紅葉散り敷き**けれ**ば、錦と見ゆ。

Q95. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

幾日も行**けれ**ば、都いと遠くなりぬ。

Q96. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

御返りこそ、いと心にく**けれ**。

Q97. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

かの人の情け、世に並ぶものなかり**けれ**。

Q98. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

ここに住むべきにもあらず、さりとて帰るべきにもあら**まじければ**。

Q99. 次の傍線部「けれ」を識別せよ。

霜白く置**ければ**、道もはるけし。

採点振り返り

- **基礎 (Q1~20) で落とした問題**：直前の一字（イ段＝連用形か、形容詞語幹か、ベ・まじ・まほし・たしか）の確認をもう一度。
- **応用・入試 (例外D) で落とした問題**：「咲**き**けれ（連用+けり）」と「咲**け**れ（已然+完了り）」の一字違いを必ず確認。直前が **イ段なら過去のけり、エ段なら完了のり** が鉄則。
- **形容詞已然形 (B) と過去のけり (A) の混同**：「多**け**れ（形容詞）」と「多**か**りけれ（形容詞+過去のけり）」のように、カリ活用連用形+けりは過去。
- 間違えた問題は、例文の「**けれ**」の**直前一字**に印をつけて解き直すと定着します。